

(一財) CSOネットワーク

持続可能性を高める中小企業をサポートするツールの開発及びそれに向けた調査 ～SDGs時代における地域のエコシステムを活用したアプローチ～

活動地域  東京都、佐賀県

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

セミナー参加人数 **160人**

メディア露出回数 **5回**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **70%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、オンラインの活用等、柔軟な活動展開に努めたが、やむを得ず出張回数を削減するなど対話・連携の機会には制限があった。

■工夫した点

- オンラインを活用し、セミナーの開催、アプリでの進捗管理、SNSによる情報発信等を行った
- 活動の成果をまとめ、様々な場面で活用しやすいハンドブックとして発行



サステナブルブランド国際会議で活動を紹介

課題

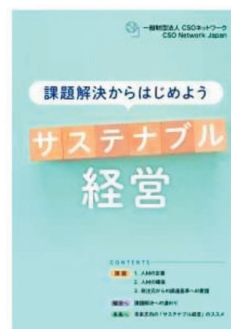
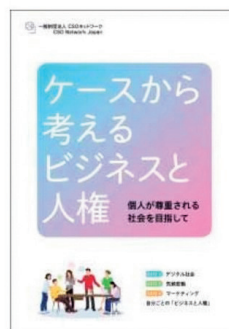
中小企業は地域経済を支えるのに欠かせない存在だが、取り巻く環境の厳しさを背景に、自社や地域社会への持続可能性向上に関する取組みは限定的であると思われる。

目標

中小企業の持続可能性における現状と期待値のギャップを調査し、地域・社会の関係性の中で理解し、ギャップを埋めるために必要なことを地域・社会のシステムから考える。

活動内容と成果

- 調査等からの気づきや学びを踏まえ、中小企業が抱える課題からサステナビリティ経営を考えるハンドブック「課題解決からはじめよう サステナブル経営」を発刊。約100か所に配布
- 「ビジネスと人権」を主テーマとしたハンドブック「ケースから考える『ビジネスと人権』～個人や尊重される社会を目指して～」を発刊。約100か所に配布
- 動画「10分でわかる『ビジネスと人権』」を制作（動画再生数：2022年3月31日現在550回）
- 自主開催セミナーを3回開催。参加人数約160人
- 外部メディア露出5件



発行したハンドブックの表紙

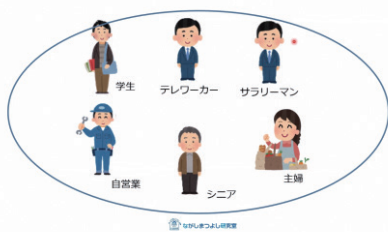
全助成期間の活動を振り返って

中小企業や関係者へのインタビュー等からの気づきや学びを踏まえ、サステナブル経営を考えるハンドブックの発行という成果を生み出すことができた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響から行動の制限があり、オンラインを活用せざるを得ない状況となったが、全国の様々な関係者との対話や連携の機会を得たり、オンラインセミナーに全国から参加をいただき、活動を知っていただいたというポジティブな影響もあった。

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18 アパコビル5階
電話：03-3202-8188
E-mail：office@csonj.org
HP：https://www.csonj.org/



地域にいる人・昼間いる人



オンラインセミナーの様子



今後の展望

発行したハンドブックを活用したことによる中小企業や関係者への具体的な効果の把握についてはまだ行っていないため、今後、弊団体が取り組んでいる「企業のサステナビリティ推進」や「持続可能な地域づくり」といった事業を進める中で機会を創っていきたい。助成期間を通じて得た様々な関係者とのつながりをいかし、経営と地域社会の持続可能性向上に寄与するための活動に引き続き取り組んでいきたい。